

# 今年度はこんな事業でみなさまの健康づくりをバックアップします

	事業名	実施月	事業の内容
情報提供に	機関誌「健保だより」の発行	年2回	健康保険組合の広報誌を発行します。
	各種図書・パンフレットの配布	随時	制度改正等のパンフレットを配布します。
	ジェネリック医薬品お願いカード	随時	被保険者証発行時に配布します。
	医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知	毎月	毎月全受診者に通知します。
病気の予防に	一般健康診査	4・5月	被保険者・40歳以上の被扶養者の方が対象です。 (1人3,000円または8,100円の自己負担…年齢による)
	生活習慣病健診	10月	35歳以上の被保険者と被扶養者の方が対象です。 (1人3,000円の自己負担)
	子宮頸がん検診・大腸がん検診	10月	35歳以上の被保険者と被扶養者の方が対象です。 (1人500円の自己負担)
	前立腺がん検診	10月	50歳以上の被保険者と被扶養者の方が対象です。 (1人500円の自己負担)
	短期人間ドック(一泊人間ドック)	随時	35歳以上の被保険者の方が対象です。 (1人30,000円の自己負担)
	自動化健診(一日人間ドック)	随時	35歳以上の被保険者と被扶養者の方が対象です。 (1人15,000円の自己負担) ただし、年度内に35歳になる被保険者の方は自己負担はありません。
	特定健診	随時	40歳以上74歳までの被扶養者の方が対象です。
	特定保健指導	随時	特定健診をもとに、保健指導を行います。
	保健師保健指導事業	随時	健康保険組合岐阜連合会の共同事業です。
	生活習慣病セミナー	9月	健康保険組合岐阜連合会の共同事業です。
体力づくりに 心身の保養に	常備薬および健康食品斡旋	4・10月	家庭用常備薬等を斡旋します。
	「健康ウォーク」に参加	10月	健康保険組合岐阜連合会の共同事業です。
	ソフトボール大会	9月	ファッション産業連合会と共催です。



# 岐阜繊維 健保だより

岐阜繊維健康保険組合 岐阜市三歳町3丁目11番地7 ☎ (058) 254-0171

No.121

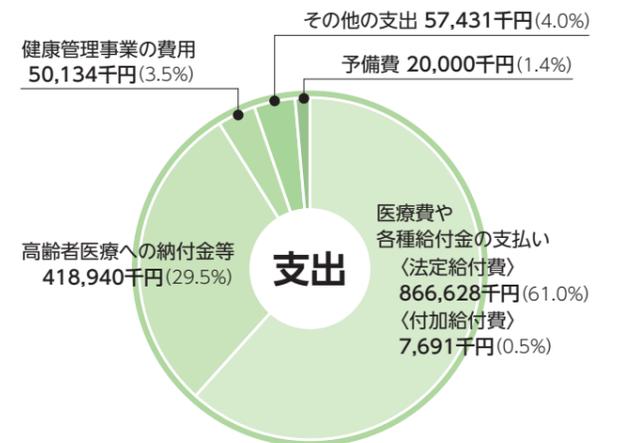
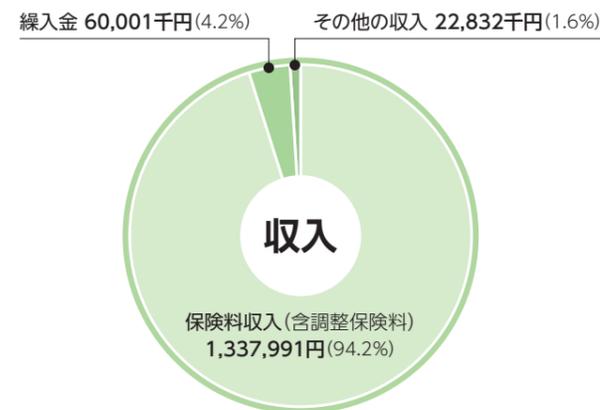
●2019年度予算と事業計画 ●今年度はこんな事業でみなさまの健康づくりをバックアップします

## 2019年度予算と事業計画が決まりました ご家族そろって健康で幸せな一年を!

当健康保険組合の2019年度予算は14億2,082万4千円、一人当たり37万489円で皆様の健康をお守りすることになりました。

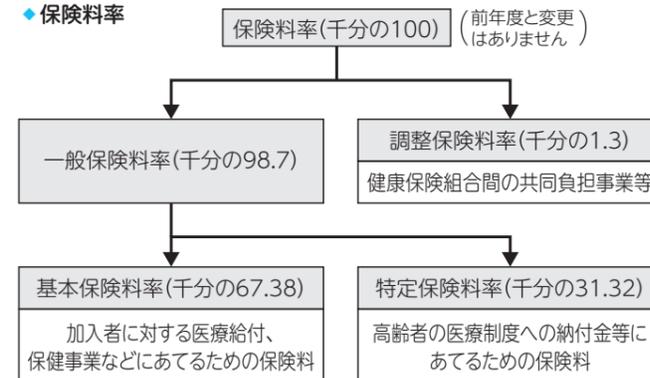
財政的には厳しい状況が続いていますが、当健康保険組合では今年度も皆様の健康づくりに役立つ、さまざまな保健事業を厳選して実施してまいります。皆様におかれましても、これらの事業を十分に活用され、日々の健康管理にお役立ていただければ幸いです。

### 健康保険 予算総額…1,420,824千円

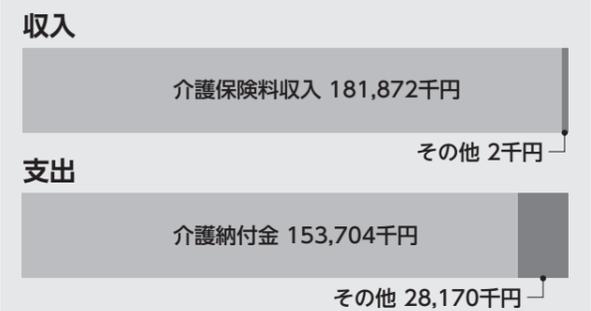


### 予算の基礎となった数字

- ◆被保険者数……………3,835人(男…1,217人 女…2,618人)
- ◆平均標準報酬月額……………263,000円(男…364,260円 女…215,290円)
- ◆総標準賞与額(年間合計)……………1,387,000千円
- ◆平均年齢……………49.24歳(男…47.73歳 女…49.95歳)
- ◆被扶養者数……………1,533人
- ◆扶養率……………0.40人
- ◆前期高齢者加入率……………7.96%
- ◆保険料率



### 介護保険 予算総額…181,874千円



### 予算の基礎となった数字

- ◆介護保険第2号被保険者数……………3,013人
- ◆介護保険第2号被保険者たる被保険者数……………2,460人
- ◆平均標準報酬月額……………280,000円
- ◆総標準賞与額……………738,000千円
- ◆介護保険料率……………千分の20.2  
(前年度と変更はありません)
- ◆事業主……………千分の10.1
- ◆被保険者……………千分の10.1

# どうして健診を受けるの？

みなさん、毎年健診を受けていますか？  
健診は何のために受けるのでしょうか？



## 理由1 病気を予防するため

健診結果に「アブナイな」と思われる数値や「要再検査」などの項目はありませんか？ 健診を受けることは、病気になるのを未然に防ぐことにつながります。

また、毎年検査を受けることで、経年変化に気づきやすくなります。



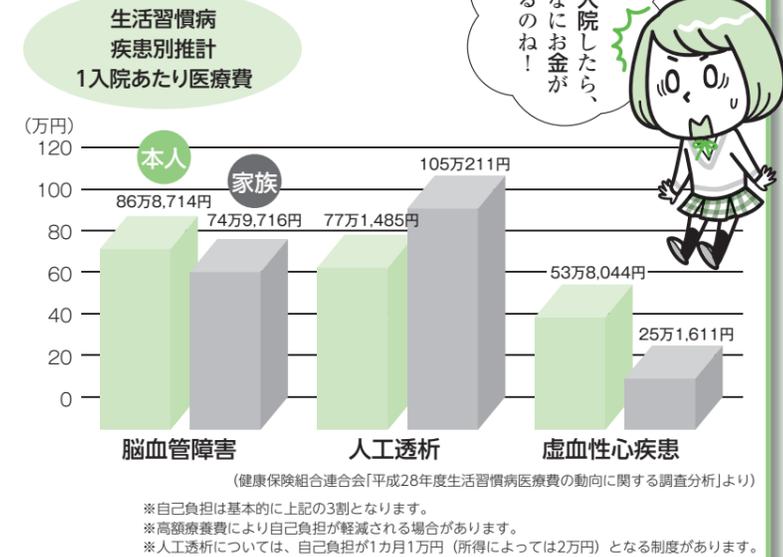
## 理由2 病気を早期発見・早期治療するため

自覚症状が出る前に病気を早期発見し、早期治療することができます。治療期間も短くなり、身体的にも負担が少なくなります。



## 理由3 医療費の節約につなげるため

健診で見つけた病気を早期に治療すれば、医療費も少なくて済みます。家計にやさしいことに加え、健保組合の財政からの支出も抑えられて、健保組合も助かります。



## みなさんの健康を守るために健保組合が行っている事業

### ● 特定健診・特定保健指導

特定健診とは、40歳～74歳の方が受ける、メタボリックシンドロームの予防や早期発見のための健診です。

特定健診でリスクが高かった方は、特定保健指導を受け、保健師や管理栄養士などのプロからアドバイスを受けながら生活習慣改善に取り組んでいただけます。



### ● 参考 特定保健指導の実施率

特定保健指導の実施率は、健保組合全体で2割にも及びません。生活習慣を改善するためのプロのアドバイスを、無料で受けられるチャンスです。案内が届いた方は、ぜひ受けてください。

● 特定保健指導の実施率 (健保組合全体)  
(厚生労働省「2016年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況について」より)



### ● データヘルス計画

すべての健保組合に対し、健診や医療費のデータ分析に基づく、加入者の健康状態に合わせた効率的・効果的な保健事業計画の実施が求められています。この事業計画のことを「データヘルス計画」といいます。

現在は2018年度から6年間の「第2期データヘルス計画」を実施中です。

### データヘルス計画

- 特定健診を受けていない方に、受診を促します
  - 特定保健指導を受けやすくします
  - ジェネリック医薬品の利用を促します
  - がん検診を受診しやすくします
- など



### コラボヘルスについて

「企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できる」という、「健康経営」という考え方があります。企業(事業主)が健康経営を、健保組合がデータヘルス計画を、

企業と健保組合が一体となって進めることを「コラボヘルス」といいます。健康経営とデータヘルス計画を進めることは「車の両輪」のような関係であり、相乗効果も期待されています。

※健康経営®とは、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。